年度	学年	教科	授業数／週
令和８年度	3	社会	4
教科書			
新しい社会 歴史・新編 新しい社会 公民			
補助教材			
社会の自主学習　歴史・公民			

年間指導目標
２０世紀以降の歴史及び公民の学習することにより、社会的な見方・考え方を働かせ、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することを目指す。

観点	評価材料	評価基準
知識 技能	・定期テスト （知識及び技能） ・小テスト	定期テストとその他の評価材料の比率をその達成率により、下記の基準に基づきA、B、Cをつける。
思考 判断 表現	・定期テスト （思考・判断・表現） ・自己評価票	定期試験とその他の評価材料の比率をおよそ８：２から７：３とし、その達成率により、下記の基準に基づきA、B、Cをつける。
主体的に 学習に 取り組む 態度	・ワーク ・ノート ・グループでの話し合い ・授業での発言	A・ノートに板書が全てあり、自身の記述内容が充実している。 ・ワークは丸つけ解きなおしを取り組み、期限内に提出できる。 B・ノートに不足があったり、記述が充実していない。 ・ノートに自身の記述がある。 ・ワークの提出に遅延や再提出、不足がある場合。

授業の評価について	
注意事項	①ノートはA4サイズのもので、歴史と公民とを分けること。 ②忘れ物がある場合は必ず授業前に申告すること。
アドバイス	授業の受け方 ・授業では、先生の質問や指示しっかり聞いて、課題や作業に取り組みましょう。 ・話し合いの時と、自分（ひとり）で考える時をしっかり区別しましょう。 ノートの取り方 ・歴史と公民は別に用意します。 ・授業のまとめは自分の考えを書きましょう。 家庭での勉強の仕方 ・予習・・・次のページの教科書を読んでおくとよいです。 ・復習・・・教科書の太文字をしっかりと理解しておくことが大切です。

年間指導計画			
学期	月	単元	テスト・評価
1学期	4	6章　二度の世界大戦と日本 ・第一次世界大戦と日本 ・大正デモクラシーの時代	
	5	・世界恐慌と日本の中国侵略 ・第二次世界大戦と日本 第7章　現代の日本と私たち ・戦後日本の出発	
	6	・冷戦と日本の発展 ・新たな時代の日本と世界	期末テスト(知・思・主)
	7	1章　現代社会と私たち ・現代社会の特色と私たち ・私たちの生活と文化 ・現代社会の見方や考え方	
2学期	9	2章　個人の尊重と日本国憲法 ・人権と日本国憲法 ・人権と共生社会 ・これからの人権保障	中間テスト(知・思・主)
	10	3章　現代の民主政治と社会 ・現代の民主政治 ・国の政治の仕組み ・地方自治体と私たち	
	11	4章　私たちの暮らしと経済 ・消費生活と経済 ・生産と労働 ・市場経済の仕組みと金融	期末テスト(知・思・主)
	12	・財政と国民の福祉 ・これからの経済と社会 5章　地球社会と私たち ・国際社会の仕組み	
3学期	1	・さまざまな国際問題 ・これからの地球社会と日本	
	2	振り返り	学年末テスト(知・思・主)
	3	振り返り	